

# Newsletter

## Life Science Vol.1

参考和訳（企業情報のみ）

ビジネスオウル

2013年3月号

オウル「ライフサイエンス」が発信するニュース  
初の英語版をリリース

今回のニュースレターでは次のような内容をお届けします。

1. オウル・ライフサイエンス分野に新たに加わった企業について

- オウル発の体系的治療の影響評価
- Arcticfiber がオウルに試験工場を建設予定
- 高品質な職業的福利サービスを生み出す Medstep がオウル地域での操業を開始

2. オウル・ヘルスの概要

## ●オウル発の体系的治療の影響評価

トゥルクに本社を置く医療 IT 企業の BCBmedical は、オウルでの足場をより強力に固めつつある。オウルを拠点とする業務を担当するアリ・マッコネン氏 (Ari Makkonen) はメディポリスにオフィスを構え、目下の目標はコンティンカンガスにあるオウル・ライフサイエンスとオウル・ヘルスの現場のスタッフ増員のための雇用だ。マッコネン氏によれば、すでにプロジェクト・マネージャーの募集は済んでおり、今はプログラマーを探している。オウルでの下請け契約も同水準で継続する。

「BCBmedical との協力事業の可能性について話し合うために、現地の事業者からの連絡を期待しています。今までのところ、例えば Mawell (<http://www.mawell.com/>) や Medanets (<http://www.medanets.com/fi/etusivu.html>) のワイヤレス・ファイリング等によるオンライン・サービス・システムに関する協力の可能性について検討して来ました。当然ながら我が社は Tieto (<http://www.tieto.com/>) や CGI (<http://www.logica.fi/>) との協力を発展させることにも関心があります」とマッコネン氏は言う。BCB は治療の影響と質をモニタリングする電気機器を全国規模で提供している。

「年明けから、我が社は新しいクリニカル・パスと質の高い記録製品を売り出しており、特に関節置換、内視鏡、心臓血管や軟組織の手術の体系的モニタリング製品がすでに完成しています。加えて、痛みや白内障の実体に対する質の高いデータベースを構築しました。」

BCB のシステムでは、体系的な評価法に従って処置の前後の患者の状態をポイントで評価する。術前、術中、術後のデータが体系的に分析され報告される。

「その結果から治療の影響、クリニカル・パスの機能性、異なる医師による処置などのデータが得られる」とマッコネン氏は言う。

<http://www.bcbmedical.com>

Ari Makkonen , +358 40 846 45 89

## ●Arcticfiber がオウルに試験工場を建設予定

バイオ・ファイナンス企業の Arcticfiber (ウーシカウプンキに登録) が Kemira (<http://www.kemira.com/>) の研究センターの浸出実験・試験工場を手掛ける。その方法は長年にわたり培ったものに根ざしており、Arcticfiber は 20 年前から開発を続けている。同社の CEO ペッカ・ヴィルプネン氏 (Pekka Vilppunen) は、ケムポリス事業の立ち上げ段階で Kemira のオウル工場でおウル大学の代表を務めていたため、Kemira とは馴染みの間柄だ。「有用な繊維や酵素を生産する浸出を行う試験工場用の敷地を探しています。タンペレの投資家の協力を得て、この技術を商品化します。」ペッカ・ヴィルプネン氏は述べた。

Arcticfiber は、合成繊維をナノ単位の天然繊維に置き換えることを目指す EU のより大規模なプロジェクトにも参加している。「このナノ単位の天然繊維により、通気性のある薄膜を使ったリサイクル可能な包装ができる。」この通気性により、包装された鶏の胸肉が従来のもものより最大で 10 日長い鮮度保証が可能となる。

この事業にはオランダ、イギリス、スペインの提携企業が参加している。2017 年までに 6 億 2 千万パックの製造を目指す、とヴィルプネン氏は言う。

この価値ある繊維の生産は予定より早く進んでいる。生産工程が完了し、あとはリサイクル規定の整備や天然繊維のバイオ複合材料への技術応用の開発を待つばかりとなっている。生産工程において重要なのは、第一段階で原料を最終製品の要件を満たすように作る部分だ。

<http://www.arcticfiber.fi>

Pekka Vilppunen, +358 400 686 089

## ●高品質な職業的福利サービスを生み出す Medstep が オウル地域での操業を開始

Medstep の主力商品は、Terveyspolku (健康への道) というサービスである。このサービスは一つの企業、その従業員一人ひとりの職業的福利を一度に発展させるものだ。睡眠と回復、運動と栄養について各個人に合わせた指導を提供する。このサービスでは、個人のライフスタイルを永久的に変化させることによって一人ひとりの福利厚生を発展させ、企業が職業的福利厚生として設定した目標の達成をサポートする。従業員一人ひとりの福利厚生が向上すれば、企業全体の業績も上がる。

その他 Medstep のサービスに含まれるもの

- ・企業の福利厚生事業の見直し
- ・福利厚生についての講義
- ・レクリエーション・デイ

職業的福利厚生へ正しく投資することで、企業は大きな経済的有利性を享受し、競争力の強化が期待できる。

<http://www.medstep.fi>

Medstep - +358 10 231 3450 -

info@medstep.fi

1. オウル・ライフサイエンス分野に新たに加わった企業について

オウル・ヘルスとは、社会的健康管理分野の次世代職業モデルとして、またそのサポートシステムとして、国際的にネットワーク化したオープンな革新的な環境である。この革新的な環境には企業、研究、官民両方の事業が混在する。そのコンセプトは顧客志向の社会的健康管理サービス開発への体系的取り組みを基盤とする。この革新的な環境は物質的にもバーチャルにも存在する。

オウル・ヘルスの物質的な革新的な環境はコンティンカンガス・キャンパス周辺地域を中心に存在する。そこには健康と福利厚生に関する他の事業者も複数存在している。オープンな革新的環境は、バーチャル環境（3D環境等）やオウルで開発が活発なオープン・インターフェース（オニオン・プロジェクト等）を網羅する。将来的には、市民を始めとするエンド・ユーザーによる各工程への参加が促進され、それにより彼らのニーズが明確化するとともに、個人が自分の健康や福利についてより気を配る動機付けの助けとなる。

オウル・ヘルスの革新的な環境は、共通の目標、コミュニケーション、企業運営を通して、組織ではなく様々な事業者を結びつけることができる。オウル・ヘルスは新しいブランドだが、オウル市はこの数年間、オープンな革新的環境の体系的開発に取り組んできた。

今後の情報についてのお問い合わせ

Noora Jansson

Head of OuluHealth

Tel: +358 40 753 2917

[noora.jansson@businessoulu.com](mailto:noora.jansson@businessoulu.com)